

角筈地区協議会

第3回生活環境分科会 概要

平成25年8月6日(火) 14時00分～15時15分

角筈地域センター7階会議室

出席：委員5名 オブザーバー8名 事務局3名

1 リーダー挨拶

会議に先立ってリーダーから挨拶がありました。

2 協議事項

(1) 出席者、オブザーバー自己紹介

地域カフェ開催については、社協地区部会との連携を視野に入れ検討しています。7月16日に社協地区部会の地域カフェ検討会議に、当分科会リーダーと事務局がオブザーバーとして参加しました。今回は、当分科会会議に社協地区部会がオブザーバーとして参加し、情報の共有、意見交換をしました。

また、新宿区高齢者福祉課では、高齢者の見守り関連事業として地域安心カフェを2か所(都営百人町アパート及び戸山シニア活動館)にて行っていますが、そのほかの各地域において行われている地域カフェ開催についての協議等にも参加し情報提供等しています。

分科会委員とオブザーバー出席者の自己紹介がありました。

- ・角筈地区協議会生活環境分科会委員 5名
- ・新宿区社会福祉協議会柏木角筈地区部会委員 4名
- ・新宿区社会福祉協議会地区担当職員 2名
- ・新宿区高齢者福祉課高齢者支援係 2名
- ・角筈地区協議会事務局 3名

(2) 地域カフェについて

①今後の地域カフェの進め方について

地域カフェを開催するうえで、そのコンセプト(対象者や日程、場所、内容)など協議しました。

- ・対象の世代 基本的には高齢者。外出の機会の少ない方が家の外に出るきっかけとなれば。また、来るものは拒まず、どなたでも受け入れたい。ただし、特に引きこもりがちな高齢者については、その実態把握から声のかけ方まで難しく課題。子育て世代も参加できるとよい。若い世代や子どもがいると高齢者も楽しいと思う。
- ・日程 現状で毎月開催は難しいが、最初は半年～4か月に一回の開催でいきたい。将来的には運営可能な個人や団体に任せていきたいとも考える。
- ・場所 西新宿シニア活動館(高齢者が主体であれば可)、角筈地域センター
- ・内容 ファストフード店が日中の高齢者の居場所になっている現状がある。干渉されないが顔見知りになるケースもあり、一人でも参加できる雰囲気づくりが必要。具体的なことは今後の話し合いにより検討。実際のカフェを見学したい。

②社協地区部会との意見交換

社協地区部会委員と分科会委員が、カフェの運営について意見交換しました。

- ・すでに開催している経験者の話を参考にしたい。
- ・利用者の中から運営のお手伝いができる人が出てくるとよい。
- ・地区のサロンというイメージでどなたでも利用してほしい。
- ・声掛けの案として、町会長や高齢者クラブから声掛けしてもらおう/把握している方に、チラシや案内を投函してもらおうなど情報を発信してもらおう/ラジオ体操や地域内の掲示板で告知/などが両会の委員から出た。
- ・(他地区協でカフェ開催経験者からの意見) 声掛けも最初が肝心である。町会長といった方からの声掛けでは参加が義理になってしまい後が続かない。また、他地区から一人で参加した方に対しては地区協委員が相手をし、徐々に他の利用者の輪に引き入れていった。
- ・継続して何度も利用してもらえる方法を考えたい。
- ・運営するのも参加するのも無理なくボチボチが良いと思う。運営や声掛けを構えれば構えるほど参加しづらくなるタイプの人もあると思う。堅苦しきはなくしたい。見守り協力員に声掛けしてもらおうのも、できるだけたくさんに、というのではなく出てきてほしい方一人、二人に対して丁寧に声掛けしてもらいたい。居心地の良い場所を提供して、安心感や気晴らしが芽生えたら良いと思う。
- ・高齢者総合相談センターに声掛けなどの協力をしてもらおう。様々な機関や団体と連携、協力できたら良いと思う。
- ・ターゲットが広すぎるようにも感じる。最初は町会や団地、アパート単位のみでも良いのかもしれない。そこから段々に輪が広がっていくかも。
- ・続けるための良いアイデアだと思う。「おもしろそう」と思われるのが大事。
- ・柏木地区協きずなカフェの様子：毎月第三火曜日開催。お茶と簡単なお菓子を用意してセルフサービス。自分の趣味を発表したりしている(フルーツ演奏など)。地区協が折り紙を用意している。七夕やクリスマスなどの行事には簡単なイベントを行っている。

<社協地区部会の考え方>

社協地区部会の考え方について地区部会事務局から次のようがありました。

地域カフェの目的が、高齢者の地域におけるつながりづくりや引きこもりがちな人の外出の機会づくりであれば、開催が年一回や数か月に一回程度のものとなると目的を果たすのが難しくなると思う。単発のイベント形式もそれなりに良いと思うが、目的を果たすためにはある程度(ひと月や隔月に一回)といった定期開催が望ましいのではないかと。カフェを開くことが目的ではない。まずは一度やってみて様子を見ながら開催頻度を決めていくことには同意見である。地区協のいう11月開催についてはもう一度地区部会で協議したいが、今年度中に一度は開催したいと思っている。また、西新宿シニア活動館での開催であれば、活動館主催イベントなどに抱合せてイベント前後にカフェに立ち寄れるようにする。柏木地区協のカフェのように、テーブル、椅子、お茶のみを用意しセルフサービスで簡単に初め、利用者の様子を見て変えていく。カフェサポーターのような担い手を発掘する。

<地域カフェまとめ>

以上の協議から今回の話し合いでは下記のようにになりました。

- ・対象者 高齢者が主体だが、母・父と子などの若い世代も。
- ・日程 社協地区部会が検討後、地区協生活環境分科会と調整。遅くも年度内に一度開催希望(地区協分科会としては11月中に一度開催希望)。
- ・場所 西新宿シニア活動館(高齢者が主体であれば可)もしくは角筈地域センター
- ・内容 具体的なことは今後の話し合いにより検討。実際のカフェを見学する。→8月8日(木)14:00~戸山シニア活動館「カフェだんだん」

3 議題

(1) いきいき体操・ストレッチ教室について

地域の中で、いきいき体操やストレッチ体操など、健康維持・介護予防のための教室が開催されたらよいのでは、ということで廣川委員から出された事業案ですが、具体的な協議ができないまま半期が過ぎようというところです。この事業案については来年度に持ち越す、ということになると思います。出席委員からは、いきいき体操教室は西新宿シニア活動館において定期的で開催されているという情報提供がありました。また、地域カフェが開催された時にはその時間内に盛り込んでもよいのでは、という案が出ました。

(2) 自転車駐輪問題について

2月25日の分科会では新宿区の自転車及び駐輪対策について、主に交通対策課自転車対策係に話を聞きました。今度は交通対策課交通企画係に駐輪場や放置自転車についての今後の方針等について企画面からの話を聞くということになりました。時期は12月くらいを予定します。

4 その他

(1) 他分科会の報告

①安全安心分科会

防災施設の見学を計画しています。日時は未定ですが、対象は地区協委員のほか町会防災部等にも声を掛け、地域の防災に役立てていただくのが目的です。

②地域交流分科会

地域情報紙「わいわい地域交流！」30号の発行に向けて編集作業中です。また、他地区協議会の地域交流に関する活動について話を聞きに行く予定です。恒例の「秋を探そう中央公園！」は11月22日(金)開催予定です。

(2) 委員所属団体から

①西新宿一丁目商店街振興組合から

9月1日より、客引き防止条例が施行されます。これにともない振興組合では、客引き行為や付きまとい行為防止の強化を行っており、この行為に対する指導員を養成しています。現在20名程度が受講予定です。この条例は罰則規定や取締

り権はないため、新宿区から指定を受けた者(指導員)からの指導という形になります。

② S K K (新宿新都心開発協議会) から

三井ビル55ひろばにおいて、木曜コンサートが行われます。

8月8日(木) 12時～13時

木曜コンサートの日程は、角筈地域センター「西新宿タウンニュース」97号にも掲載しています。

5 次回会議日程

日 時 : 9 月 4 日 (水) 14 時 00分 ~

会 場 : 角筈特別出張所2階会議室